”農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

〈 第 15 号 〉
２００９．１．１発行
島根県農地･水･環境保全協議会

次世代に．．．

島根県農地・水・環境保全協議会
事務局長　田　中　　修

新年明けましておめでとうございます。

本対策も２年目となり県下全市町村で取り組まれているところですが、今年度新たな取り組み組織も加わり共同活動では２万ｈａ弱、農振農用地面積の４４％にも及んでいます。また営農活動も１千ｈａ強と昨年を上回る面積が取り組まれております。

個人主義が世の主流となり、共同活動は嫌われる傾向のなかでこれだけの地域で取り組みがなされていることは、県内の農村地域はまだまだ捨てたものではないとの意を強く感じているところであります。

本対策の主旨は農業農村に不可欠な水・土・里を地域全体で維持保全する目的で制度化されたものでありますが、地域内での話し合いや共同活動をすることによって地域の連携の深まりや年代を超えた交流など、その効果は計り知れないものがあります。

また、女性や子供などを含む多様な団体が参画していることにより農村環境向上活動も積極的に進められており活動組織へのアンケート調査でも８０％を超える組織が環境保全や景観に対する意識が高まったとの回答でありました。

「水」「土」「里」すべて地域の貴重な財産であり、この財産を確実に次世代に引き継がなければなりません。

この制度の存続を求める声が早くから聞かれます。制度の存続に向けては都市住民を含めた理解が必要でありますが、何よりも今行っている活動は他人のために行っているのではなく、自らの地域を自らの手で守っていくための活動であるを強く認識し、より一層の取り組みを御願い致します。

僕たち私たちの絵が広報活動に一役
常松の環境を守る会（出雲市）

常松の環境を守る会では、子供会と農業者が中心となって管理不良農地（減反田）へコスモスの植栽し、開花時には写生会を行いました。秋には地区内外の方から、「コスモス見たよ～」という反応があり、改めて反響の大きさに驚き、花咲く街道になったことで、空き缶、ゴミの廃棄も少なくなり、皆さんの景観への関心が深まったことを実感しました。

写生会での絵画は、秋祭りに掲示板を設置し、景観活動を紹介した文書と一緒に掲示して、広く皆さんへこの取組を知って頂きました。

ガルテナーが運んできた風
志津見環境保全組合（飯南町）

私たち志津見環境保全組合では、地域内にある滞在型市民農園施設「志都の里クラインガルテン」の利用者（ガルデナー：遠くは関西、広島からの方）にも参加して頂いて、春には、桜並木の管理（草刈り）、空き缶等のゴミの除去を行い、秋には「よずくハデ」を作り、ハデ干ししたお米をほおばりながらの収穫祭を催しています。

ガルテナーの方達の参加で、地元の固定的な人間関係しかないところへ、新鮮な感覚が広がってきています。

活動事例紹介

夏の日のひとこま～田んぼの生き物調査
西長江環境保全会（松江市）

西長江環境保全会は、農事組合をはじめ、４つの自治会、子供会などが構成員として平成２０年度から取組を始めた組織です。

環境向上活動では、生物の観察、水路の水質検査、コスモス、カバープランツの植栽、木質チップの堆肥化などを実施しました。

今回は、これらの活動の中から、自慢のひとつをご紹介します。

青空の下、夏休みの午前中を利用して、構成員の一員となっている西長江米エコ栽培グループの「試験的に除草剤を使わず米作りを行っている田んぼ」を会場にして「生物の生息状況の把握」を行いました。

地元の小学生たち約２０名が実際に田んぼの中へ入って行き、全農広報部大村先生の指導を受けながら、田んぼに住んでいる生き物を図鑑と見比べながら観察をし、先生からは資料やボードで判り易く指導をしていただきました。昔いた生き物が随分少なくなったのを目の当たりにし、将来にわたってもずっとこの生き物たちが住みつづけていられるような環境を私たちが守っていく努力が必要不可欠だと感じました。この生物観察によって一人一人のゴミの後始末や、汚い水を流さないなど、水質や環境保全への関心が高まっていくように保全会の活動を続けて行きたいとあらためて思いました。

農政局長表彰決定！！

平成２０年１２月５日、岡山市で総数２３８名（島根県からは９組織、２市、県、県協議会から３０名の参加）が集まり「農地・水・環境保全向上対策報告会」が盛大に開催されました。

はじめに、農政局長表彰を受賞した３活動組織の表彰と紹介、活動内容の報告がありました。続いて行われたパネルディスカッションでは、３受賞組織の代表者、島根県岡篤雄企画幹等がパネラーとなり本対策と地域振興、地域力などについて意見交換されました。

受賞組織は、「地域住民が結束して共同活動に取り組んでいること」、「学校と連携し、子供達の参加・協力によって活動が実施され、地域資源の大切さが伝えられていること」、「地区内外から広く注目され、交流が広がってきていること」など、特に誘導部分の活動に特色があり、大変参考になりました。

【受賞活動組織の紹介】

●下横野農地・水・環境向上を図る会（岡山県津山市）

地域の女性が集まって地域の未来像を描くワークショップを行い、その結果を活動計画に取り入れ、活動内容の向上を図っている。共同活動によって新しいコミュニケーションの輪が生まれ幅広い地域内交流が展開された。

●乃美エコクラブ（広島県東広島市）

水路、農道、農地畦畔等法面の省力管理と景観形成活動として、広大な面積でのシバザクラの植栽を地域ぐるみで取り組んでいる。「乃美シバザクラ祭り」等、都市住民との交流の場として多面的機能を発揮している。シバザクラ米、メダカ米等の商品化、農産物直販所の開設などへと新たなふるさとづくりが始まった。

●東林地区資源保全隊（徳島県阿波市）

遊休農地を活用してレンゲ、ひまわりを広大な面積に植栽し、地域の景観形成に熱心に取り組んでいる。地元の小中学生と一緒になって活動を展開したり、中学生の手作り看板による活動ＰＲにも力を注いでいる。

～県内参加者からのひと言～

我が市の課題である耕作放棄地の拡大防止及び施設の補修・修繕等、組織がどのような活動に重点を置くか緊急の課題である。このような中山間組織での取り組み状況などの意見交換等があれば参考になるので、今後紹介して頂きたいと思いました。

★　今後の予定　★

・農政局による抽出検査

1月14日(水)	柳井地域農村環境向上委員会（松江市）　掛合町農地・水・環境保全協議会（雲南市）
1月15日(木)	横田地区農地・水・環境保全協議会（奥出雲町）　宇賀荘環境保全白鳥クラブ（安来市）
1月20日(火)	道川上活動組織（益田市）
1月21日(水)	弥栄農地・水・環境保全会（浜田市）　稲用地域資源保全隊（大田市）

・カバープランツ研修

1月31日(土)	西部会場　13:00～　浜田市金城町にて
2月14日(土)	東部会場　13:00～　出雲市にて

第１２回しまねの農村景観フォトコンテスト締切り間近！！

＝「農地・水・環境保全活動特別賞」を設けておりますので
共同活動での名場面（迷ショット）をどんどん応募して下さい＝

☆　部　　門　「風景部門」　「人物部門」　「施設部門」　「イベント部門」
☆　応 募 点 数　一人何点でも可。ただし島根県内で撮影した未発表のものに限ります。
☆　応募締切り　平成 21 年 1 月 31 日
お問い合せ　水土里ネット島根まで（詳しくは同封のチラシで）

～　編集後記　～

日本の輸出産業の花形であった自動車や電機関連の優良企業が、米国発の世界金融危機によりあっという間に大幅な販売減少や円高に苦しめられ、人員整理を始める昨今！

世界不況が廻り回って、いつまで、どこまで地方を痛めつけるか！今年は、経済成長一辺倒の幻想から醒め、持続可能な安定社会に生まれ変わるための陣痛として耐える年なのか。

ならば、農業農村が「変」から「生」へと生まれ変わるための痛みであることを願う!!!

～農地・水・環境保全向上対策に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根　℡0852-32-4141　Fax0852-24-0848
http://www.shimanedoren.or.jp/arkadia/kai_set.htm

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動）℡0852-22-6262
〃　農畜産振興課有機農業グループ（営農活動）℡0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問合せ下さい。